令和8年度 三芳町の 予算

町では、厳しい財政状況の中、限られた財源を活かしサービスを行っています。税金がどのように活かされているのか。令和８年度予算案の概要を報告します。

▲予算概要の詳細を町HPで公表中。

令和７年度から
11億5,725万6千円の
減額（一般会計）

令和７年度　一般会計予算額
185億4,480万4千円

令和８年度　一般会計予算額
173億8,754万8千円

持続可能な財政運営

町の財政状況は、社会情勢の変化に伴い複雑化・多様化する行政課題へきめ細やかに対応するため、予断を許さない状況が続いています。限られた財源のもとで、持続可能な町政運営を実現するため、事業の優先順位や重要性、効果等を的確に見極めつつ、令和8年度一般会計予算案を編成し議会に上程しました。予算案の可決により、町が実施する事業が決定したので予算の内容を公開します。

問 財政デジタル推進課㊐414・415

一般会計の概要

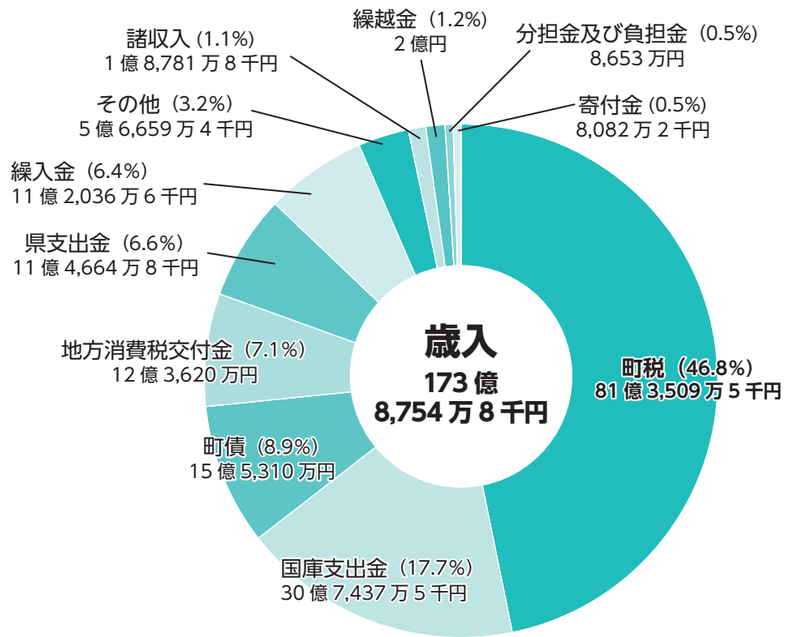
町の自主財源である町税は、増収が見込まれるものの、長期化する物価高騰等が住民生活や地域経済に深刻な影響をもたらしており、社会情勢の不確実性が高まる中で先行きは依然として不透明であるため、下振れリスクを抱えています。また、歳出面では、物価や人件費、金利等の上昇による影響のほか、社会保障経費や公共施設の老朽化対策等の将来負担増が見込まれます。こうした状況を踏まえ、持続可能な行政運営を実現するため、事業の優先順位や重要性、効果等を見極めつつ、予算を編成しました。

予算総額は173億8，754万8千円、対前年度比6．2％の減となりました。

歳入の主なものは、町税が全体の46．8％を占め、国庫支出金17．7％、町債8．9％、繰入金6．4％、地方消費税交付金7．1％、県支出金6．6％となっています。

歳出の主なものは、民生費が全体の34．8％を占め、続いて総務費28．7％、教育費8．9％、公債費7．7％、土木費7．6％、衛生費5．5％となっています。

また主な事業としては、①藤久保地域拠点整備事業、②道路改良事業、③国際交流事業、④防災啓発及び研修事業、⑤地域交流事業、⑥子ども家庭総合支援事業などを予定しています。



特別会計の概要

特別会計は、予算を使用する用途が限定されています。一般の歳入歳出予算と区別して行われている会計です。町には国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、地方公営企業法が適用される水道事業、下水道事業の5つの特別会計があります。

特別会計の中でも国民健康保険は、1人当たりの医療費が増加傾向にある一方で、被保険者は減少していることから、予算は減少となりました。後期高齢者医療は埼玉県後期高齢者医療広域連合による保険料率改定の影響により、予算が増加となりました。

介護保険は、要支援・要介護認定者の増加に伴い介護サービスの利用増が見込まれ、前年度より増加となりました。

企業会計の水道事業では、継続的な安定給水のため、本年度は配水管布設替と、高区2号配水ポンプ修繕工事等を行います。

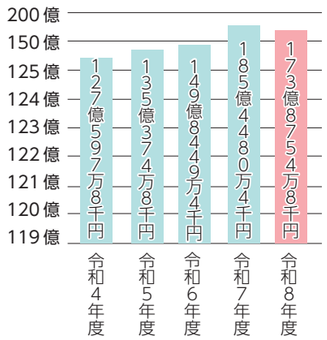
下水道事業の主な事業は、排水管布設替と中継ポンプ場のポンプ設備の更新を行います。

特別会計予算

特別会計項目		当初予算等金額	前年比	問い合わせ
国民健康保険特別会計		3,505,617千円	△0.42%	住民課保険年金㊐153
後期高齢者医療特別会計		830,055千円	15.99%	
介護保険特別会計		3,429,661千円	2.67%	健康増進課介護保険㊐184
水道事業会計	収益的収入	828,173千円	△2.17%	上下水道課水道業務 上下水道課下水道業務 ☎274-1014
	収益的収支	903,639千円	5.71%	
	資本的収入	216,345千円	55.86%	
	資本的支出	594,685千円	30.14%	
下水道事業会計	収益的収入	834,919千円	3.57%	
	収益的収支	816,201千円	6.95%	
	資本的収入	79,649千円	37.15%	
	資本的支出	231,849千円	17.01%	

一般会計当初予算

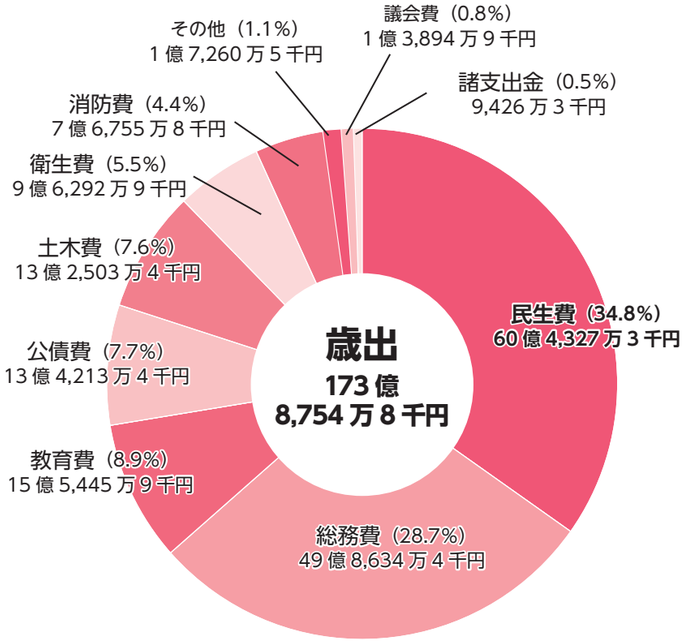
過去５年間の推移



借入金の状況

▶年度末借入金（地方債）残高

一般会計の残高

令和６年度決算額	約105億円
令和７年度見込額	約128億円
令和８年度見込額	約**131**億円

令和8年度は藤久保地域拠点整備事業、地方道路等整備事業、公園整備事業等における事業費の財源を確保するため、借り入れを予定しています。年度末借入金残高については、令和7年度見込額と比較し増額となる見込みです。